福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ
オンライン・シンポジウム

ベトナム映画の歴史的名作から現在まで

ベトナム映画の現在 映画の
特別企画
THE PAST AND PRESENT OF VIETNAMESE CINEMA

ベトナム映画を代表する巨匠
ダン・ニャット・ミン監督と
インディペンデント映画を牽引する
ファン・ダン・ジー監督をゲストに迎え、
ベトナムからオンラインで対談いただきます。

ダン・ニャット・ミン
【映画監督】

「十月になれば」(1985)がハワイ国際映画祭特別賞を受賞し、国際的に注目をあびる。その後数々の名作を送り出し、「きのう、平和の夢を見た」(2009)はアジアフォーカス・福岡国際映画祭で観客賞受賞。前ベトナム映画人協会会長。

ファン・ダン・ジー
【映画監督】

映画監督・脚本家・プロデューサー。代表作に「ビー、心配しないで！」(2010／第63回カンヌ国際映画祭批評家週間)、「大親父と、小親父と、その他の話」(2015／第65回ベルリン国際映画祭コンペティション部門)など。若手映画人育成のためのワークショップAutumn Meetingも手掛ける。

日時：2021年 6月 6日(日) 13：00～14：15
会場：福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ
(代表TEL：092-852-0600)
料金：大人600円　大学生・高校生500円　中学生・小学生400円
(障がい者・高齢者等の減免あり。詳しくはシネラニュースをご覧ください。)
※観客は120名まで。開場は開演の30分前。
※トークイベントは有料で、14時30分から上映の「ビー！心配しないで」とセット料金です。
※イベントの動画配信はありません。

聞き手：八尋 義幸
(福岡市総合図書館フィルムアーカイヴ)
通　訳：秋葉 亜子

主催：福岡市総合図書館／アテネ・フランセ文化センター／映像ホール・シネラ実行委員会
共催：ファン・ダン・ジー／在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館
助成：国際交流基金アジアセンター アジア・文化創造協働助成　協賛：九州ベトナム友好協会　協力：秋葉亜子／あいち国際女性映画祭

特別企画

ベトナム映画の現在

THE PAST AND PRESENT OF VIETNAMESE CINEMA

若手作家による 短編作品の紹介

上映日時／6月3日（木）14:00
6月5日（土）14:00
上映作品／「アナザー・シティ」「聖地」「蟻人」「曇天」「常に備えよ」「天国にいたる道」

映像ホール・シネラでは、6/2（水）～6/13（日）、ベトナム映画史に残るクラシックの名作から最先端の若手監督作品まで、計14作品を上映します。上映作品はすべて福岡市総合図書館フィルムアーカイヴ収蔵のベトナム映画で、新進気鋭の若手監督作品は、ファン・ダン・ジー監督の全面協力により2020年に総合図書館への寄贈が実現しました。
（詳しい内容については、シネラニュース、またはホームページhttp://www.cinela.com/をご覧ください。）

アナザー・シティ

Another City
Thành Phố Khác

監督／
ファム・ゴック・ラン

2016年／25分
デジタル／カラー

憂いを抱えた中年女性や、仲間とカラオケに興じながらも失恋に涙する青年。そして、幸せそうな新郎と相反するように、暗い面持ちでウェディングドレスに身を包んだ新婦。都市に住み、一見まったくの他人同士に見える彼らだが、実は微妙な関係性でつながっている。彼らはそれぞれに漠然とした不安や悲しみを抱えながらも、食事を共にする。無機質な都会を舞台に、人々の苦悩を断片的に組み込み、新たな表現を試みた群像劇。

蟻人

The Ant Man
Người Kiến

監督／
ヴィエト・ヴー

2018年／26分
デジタル／カラー

体に蟻が棲みついている同性愛者の青年は、時に蟻のように地を這う。祖母と思しき高齢女性と同居し、昼間は木工細工の職人として働いているが、夜はただ無言で祖母とテレビに見入る生活。鬱屈した日常を送る中、時に性の衝動に駆られ相手を探すが、食堂で居合わせた客から同性愛を侮辱され、殴り合いのケンカとなる。監督デビュー作ながら、ラストは衝撃的なシーンで締めくくられる。

天国にいたる道

A Trip to Heaven
Thiên đường gọi tên

監督／
ズーン・ジウ・リン

2020年／15分
デジタル／カラー

50歳の未亡人タムは、友人と共にメコン川のバスツアーに参加し、初恋の人と再会する。町一番の美男子だった彼と、クラスのマドンナ的存在だった自分との恋愛を思い出し、心躍らせるタム。一方、かつての恋人は無関心なそぶりを見せるが、ツアーの最後に「天国への階段」を訪れた二人は・・・生から死への流れを象徴するメコン川を背景に、第二の人生を歩む女性の想い、そして魂の旅路が描かれる。

聖地

Blessed Land
Một Khu Đất Tốt

監督／
ファム・ゴック・ラン

2019年／19分
デジタル／モノクロ

砂丘にある朽ちかけた墓地で、女性は息子と共に亡き夫の墓を探すが、土地開発により墓地は荒廃し、夫の墓は見つからない。一方、砂丘の向こう側では無縁墓地だったところに広大なゴルフ場が建設され、中年の男が若い愛人を同伴し、コースでプレーしている。かつては聖地とされた土地を舞台に、大きく乖離する親子と中年男の世界が描かれ、商業開発が進む現代と失われゆくベトナムの過去、そして生と死が、モノクロの色調の中で浮かび上がる。

常に備えよ

Stay Awake, Be Ready
Hãy tỉnh thức và sẵn sàng

監督／
ファム・ティエン・アン

2019年／14分
デジタル／カラー

街角の路上は、屋台で夕食をとる客でにぎわっている。通行人やバイクも頻繁に通る喧騒の中、交通事故が起き騒然となるが、人々はすぐに何事もなかったかのように食事や会話を再開する。営業でビールを売り込む若い女性、慣れた様子で口から火を噴くパフォーマンスを披露する少年、そして皮肉にも日頃の用心や備えを話し合う男性3人組など、同じ街角を全編ワンショットでとらえ、人々の生き様をリアルに描き出す。

曇天

Live in Cloud Cuckoo Land
Mây nhưng không mưa

監督／
ヴー・ミン・ギア
ファム・ホアン・ミン・ティ

2020年／20分
デジタル／カラー

恋愛を期待するウェディングドレス店員の女性と、ドレス選びで来店した裕福なカップル、そしてマイクを手に路上パフォーマンスを行う青年。自らの声ともいえるスピーカーを強奪された青年は、馬に変身してしまう。メタモルフォーゼ、また神話のイメージが描かれる中、登場人物は時空を越えて交錯し、さまよう。現実と幻想、生と死の境界すら曖昧になる。そして人々は、曇りだが雨は降っていない川岸に姿を現し、カンツォーネ「私の太陽」がシンボリックに流れる中、結び付いていく。